

# 事務事業評価シート

(H.28)No.	1055	(H.27)No.	1055
-----------	------	-----------	------

事務事業名	ファミリー・サポート・センター事業		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	健康・子育て支援室	北森 洋司	

会計区分	事業コード	193001
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	ファミリー・サポート・センター事業	
項 児童福祉費	(小事業名)	
目 児童福祉総務費	ファミリー・サポート・センター事業	

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施 策	3	子育て・子ども支援
	小 施 策	3	地域における子育て支援の充実
重点施策コード			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
仕事と子育ての両立を支援することや、病児緊急預かり等を行うことにより、安心して子育てができる環境の整備に寄与することができる。
事業内容
乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の保護者を会員として、児童の預かり等の援助を受けることを希望する者と当該援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関する連絡、調整を行う事業。こども支援センターかがやき内にアドバイザーを配置し、会員相互の連絡調整を実施。平成23年度から病児・病後児の預かり、早朝・夜間等の預かり、宿泊を伴う預かり等、緊急サポート事業をファミリーサポート事業と一本化することとなった。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.27年度(事業量・取組実績)	H.28年度(事業量・取組計画)	H.29年度(事業計画)	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ファミリーサポートセンター事業</li> <li>●緊急サポート事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・依頼会員説明会開催(毎月1回、依頼により随時実施)</li> <li>・援助会員研修会(なばり子育て支援員研修会)の開催(合計24時間実施・参加数25名)</li> <li>・会員数の拡大と援助内容の充実(依頼会員204人・援助会員60人・両方会員34人・利用件数318件)・緊急サポート事業(利用件数30件)</li> <li>・交流会・研修会各2回開催</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ファミリーサポートセンター事業</li> <li>●緊急サポート事業               <ul style="list-style-type: none"> <li>・依頼会員説明会開催</li> <li>・援助会員研修会(なばり子育て支援員研修会)の開催(合計24時間実施)</li> <li>・会員数の拡大と援助内容の充実</li> <li>・交流会や研修会開催予定</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミリーサポートセンター事業</li> <li>・緊急サポート事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミリーサポートセンター事業</li> <li>・緊急サポート事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミリーサポートセンター事業</li> <li>・緊急サポート事業</li> </ul>

	H.27年度(決算見込)	H.28年度(作成時予算額)	H.29年度(計画予算)	H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)
①直接事業費	290千円	342千円	342千円	342千円	342千円
内訳(千円)					
国・県支出金	193	228	228	228	228
地方債					
その他( )					
一般財源	(0) 97	114	114	114	114
人工数					
職員	0.57人	0.80人	0.80人	0.80人	0.80人
臨時職員等	1.41人	0.70人	0.70人	0.70人	0.70人
②概算人件費	(0千円) 6,729千円	7,270千円	7,270千円	7,270千円	7,270千円
①+②総事業費	(0千円) 7,019千円	7,612千円	7,612千円	7,612千円	7,612千円

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.27年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
子ども・子育て支援法第59条に基づく事業。ファミリーサポート事業と緊急サポート事業が一本化されたことに伴う、病児等の子どもを預けたい会員からの要望を充分支援するためには、援助会員の拡大が課題となる。	サポート体制の充実と共に利用促進や会員増を図るため、制度の周知や会員登録の啓発等を行う。特に援助会員の充実を図る。その他、一人親家庭の生活支援事業とファミサポ事業との連携について検討していく。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	家庭・地域・行政等の連携により、地域における子育て環境の向上をめざし取組を進めた。引き続き、ファミリーサポートセンター事業の充実、夜間等の緊急サポート事業の充実に取り組んでいく。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(※検討内容を記載→)	地域における子育て支援の充実をはかり、各地域に(身近に)活動できる援助会員(退職後の保育士や看護師等)のボランティアへの登録依頼を実施している。

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
--	--------

具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
近年の社会状況から、働く母親の増加、ひとり親家庭の増加、親の育児不安の増加等が見受けられ、今後もニーズは増加すると考えられるため、より充実させ継続する必要がある。	ばりっ子すくすく計画